

授業科目名	基礎憲法 I【基礎憲法】 Basic Constitutional Law I (Basic Constitutional Law)
授業科目群	法律基本科目
標準学年	1年次
必修・選択の区別	必修
開講学期	前期
開講曜日・時限	火曜日・2時限
単位数	2単位
担当教員名	赤坂幸一 (Akasaka Koichi)
授業の目的	統治機構論に関する基礎的な知見を修得すること。
履修条件	特になし。
到達目標	カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。
授業の概要	統治機構論の全体につき、コア・カリキュラムとの対応を念頭に置きながら、基礎的な知識の修得を目的とする講義を行う。具体的には下記の通りである。 Lectures on Constitutional Law (Basic Course 1)
授業計画	第1回 【立憲主義】ガイダンス／憲法の観念及び立憲主義 第2回 【憲法史】日本憲法史・象徴天皇制 第3回 【平和主義】平和主義の理念と立憲的政軍関係 第4回 【国民主権】国民主権と代表制、選挙制度 第5回 【国会 I】国会の構成・両院制 第6回 【国会 II】国会の権能：立法権、条約締結承認権 第7回 【国会 III】議院の権能：国政調査権、議院自律権 第8回 【内閣 I】議院内閣制＋中間テスト 第9回 【内閣 II】行政権の概念と内閣制度 第10回 【財政】財政統制 第11回 【裁判所 I】司法権の概念 第12回 【裁判所 II】裁判所の組織と裁判の公開原則 第13回 【裁判所 III】付随的違憲審査制 第14回 【地方自治】地方自治制度 第15回 【憲法改正】憲法の変動及び保障
授業の進め方	事前に配布した予習レジュメを中心にして、適宜質疑応答を交えながら講義を進行する。講義の進め方も含めて、初回の講義で簡単なガイダンスを行う。
教科書及び参考図書等	芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法〔第6版〕』(岩波書店)を教科書として使用し、『判例プラクティス憲法〔増補版〕』(信山社)を判例集兼副読本として使用する。下記サイトも参照してください。 <a href="http://blog.livedoor.jp/akasaka_z-kougi/archives/1016912814.html">http://blog.livedoor.jp/akasaka_z-kougi/archives/1016912814.html</a>
試験・成績評価等	期末試験を4割、中間テスト2割、小テスト・平常点を4割とする。平常点は、出席状況・質疑応答内容を勘案して付与する。法科大学院共通の準則に則り、4回以上欠席した者には、理由を問わず単位を認定しない。
事前学習	上記教科書の該当範囲および予習用レジュメを通読しておくこと。また、小テストで用いる問題の範囲については、別途指示する。

課題レポート等	とくに予定していない。
オフィスアワー	講義終了後に随時。
その他	中間試験等の結果を踏まえ、各自の学修計画への早期のフィードバックを図ることを意識する。